



棚田に可愛いゲストが来た！ 収穫の秋



南の空に、上弦の月が見える。当分、天気が続くそう。

育児の日（10/19）、そして町内園児（10/23）達の、笑顔・歓声を楽しみに…この春にサツマイモ苗を植えた。これを虎視眈々と狙うイノシシ、シカ等との知恵比べが6カ月間、一喜一憂する日々であったが、今年は棚守隊が勝利した。今、豊穰の大地、恵みに感謝する日々である。

さて、子ども・園児達等が楽しみにしている「芋ほり体験」である。農のふるさと協力隊の仲間は、棚田を愛する、本音で語り合える仲間ばかり。可愛いゲストを迎え、自然と笑みがこぼれる…。

育児の日



10/19は「育児の日」。昨年につづき高山棚田で「芋ほりハイキング」を実施される。主催は“すきっぷ”（町教育委員会）。今年は17家族（約50名）が、棚田の舞台に来て頂いた。雲一つない青空の中、久しぶりに歓声が沸く。抱っこされた幼児、おじいちゃん・おばあちゃんと一緒に手をつなぎ…。「育児の日」に向け、可愛いゲストを迎える為、手塩に育てた大地の恵みは立派に成長。大小のイモを手にも満足な笑顔・笑い・楽しい歓声が漂う中、農さと隊の仲間からバルーン風船を披露、特別企画に大きな拍手。

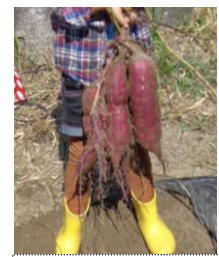
保育所園児たちのイモほり



一列に並んで、イモ掘り開始



大きなイモに驚く！



一番の大きさ

町立吉川保育所園児（48名）が、棚田で芋ほり（サツマイモ）体験をする（10/23）。

高山住吉神社前でバス下車、棚田への道は、急な坂であるが、園児の心・体は踊って、足は軽い。好奇心旺盛な園児達、手元から土の匂いがした…でっかいイモの顔が見えるが…なかなか掘れない…悪戦苦闘。可愛いもみじの手にぶら下がる大きなイモ。園児は泥んこも気にしない「やったね！」最高のポーズである。

一株で6ヶのイモを手にして大満足、みな最高の笑顔を棚田に残してくれました。園児達から「ありがとうございました」の、お礼の言葉が棚田に響く…。のどかなひと時である。